

## ゆとり世代VS氷河期世代 働く女性の目指す働き方の違いは?

～ ライフィベントで一段階、でも定年まで働きたい ～

株式会社かんでんCSフォーラムは、「ゆとり世代」(26~30歳)、「氷河期世代」(36~43歳)の働く女性に対して、自主調査「働き方にに関するアンケート調査」を実施した(調査期間:2018年10月1日~2018年10月2日、回答者:200名)。

目指している(目指していた)働き方について、【最初の就職時(働き始めた頃)】【現在】【将来】に分けて聞いたところ、「ゆとり世代」、「氷河期世代」とも「やりがいのある仕事(適職)」、「やりたいと感じる仕事(天職)」がどの時期でも上位に挙がっている。「ゆとり世代」の【最初の就職時】では、「結婚・出産を機に辞めるつもり」が最も高く、この世代においても「寿退社」を意識している面がみられた。

「ゆとり世代」、「氷河期世代」とも、【最初の就職時】から【現在】【将来】という時間の流れの中で、「結婚、出産を機に辞めるつもり」の割合が低くなる一方、「出世せず、定年まで働く」の割合が高くなっていた。『氷河期世代』では「起業、独立したい」の割合も高い傾向がみられた。

【最初の就職時】から【現在】までの働き方の変化についての自由記述では、どちらの世代とも、「子どもが産まれたので、仕事よりもプライベート重視で、短時間で融通が利くパートになった」といった仕事と家庭の両立に関する意見や、「結婚や出産をしても金銭的に辞められない、辞めない方が良いと考えるようになった」といった生活のために働く意見が多い。一方、「結婚、出産のため、休んだ期間があり、同期と、役職に差が出た。女性の社会進出が進む中、ライフィベントによって、評価に差を付けられることは不本意であり、働く意欲が低下した。」といった意見もあった。さらなる女性活躍推進においては、結婚や出産といったライフィベントが障壁にならない、誰もが公平に評価される環境づくりが急務である。

### Q.あなたが目指している(目指していた)働き方はどのようなものですか?

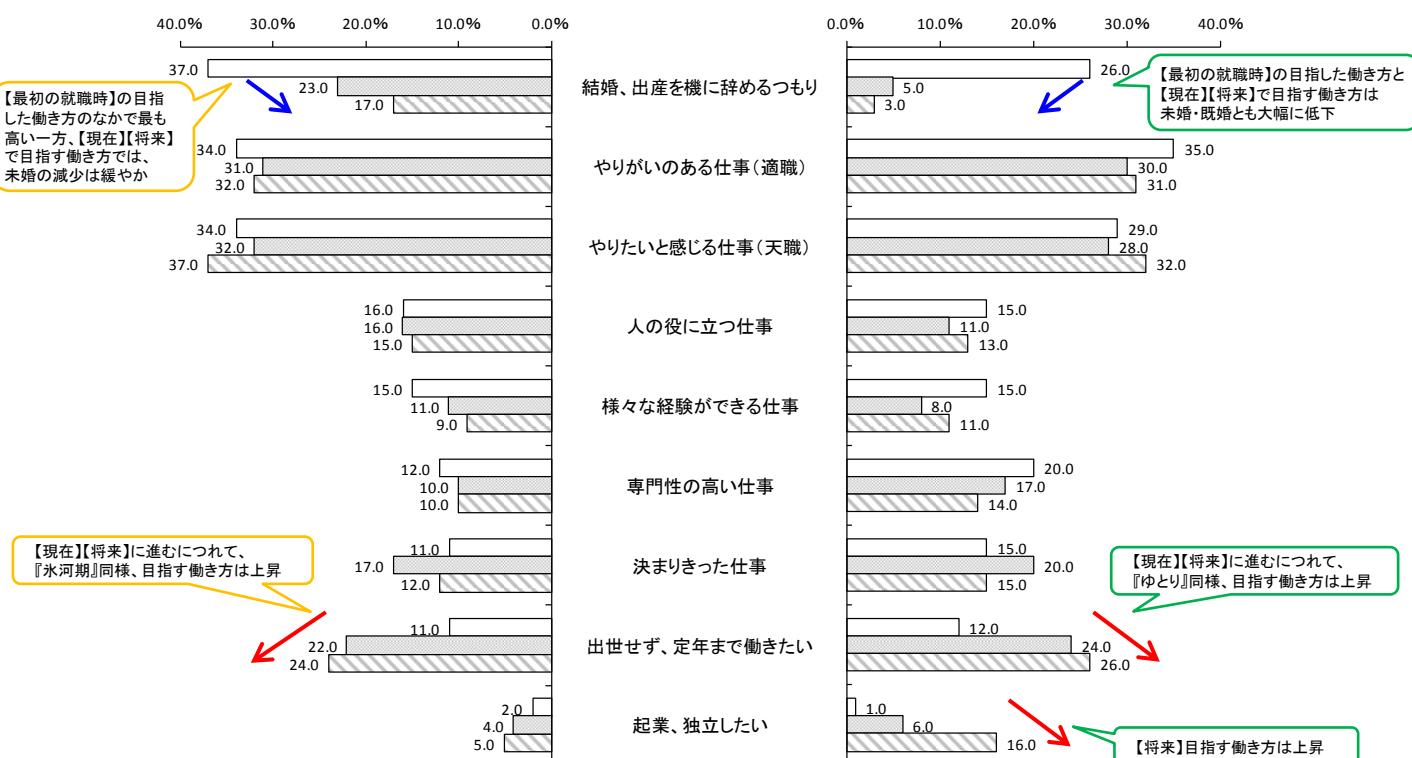
【最初の就職時(働き始めた頃)】、【現在】、【将来】別に、あてはまるものすべてお答えください。

※グラフ表示の項目は抜粋

最初の就職時  現在  将来

ゆとり世代 (n=100)

氷河期世代 (n=100)



よろしければ、記事にお使いください。(その際には下記問合せ先までご一報ください。)

結果、調査に関する詳細など(属性別のクロス集計など)についても、ご興味があればお問い合わせください。



<問合せ先> 株式会社かんでんCSフォーラム

担当:水野、大平、三國、杉本

TEL:06-4963-8838/FAX:06-6282-6300/メール:marketing@kcsf.co.jp

